

予算常任委員会会議録

1 開会日時 令和5年9月22日（金）午前10時0分

2 閉会日時 令和5年9月22日（金）午前10時59分

3 会議場所 熊山支所大会議室

4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	3 番 安藤 利博君
4 番 永徳 省二君	5 番 大森 進次君	6 番 光成 良充君
7 番 保田 守君	8 番 大口 浩志君	9 番 治徳 義明君
10 番 原田 素代君	11 番 金谷 文則君	12 番 松田 勲君
13 番 福木 京子君	14 番 佐藤 武文君	15 番 下山 哲司君

5 欠席委員

16 番 実盛 祥五君

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君	副 市 長 前田 正之君
教 育 長 坪井 秀樹君	総合政策部長 倉本 貴博君
総 務 部 長 戸川 邦彦君	財 務 部 長 杉原 洋二君
市民生活部長 矢部 勉君	保健福祉部長 遠藤 健一君
産業振興部長 是松 誠君	教 育 次 長 入矢五和夫君
総合政策部参与兼 建設事業部参与	保健福祉部参与 原田 光治君
政策推進課長 山崎 和枝君	管 財 課 長 大窄 暢毅君
財 政 課 長 原田 幸子君	市民課長兼 協働推進課長 黒田 未来君
環 境 課 長 安藤 伸一君	子育て支援課長 和田美紀子君
介護保険課長 和気 幸恵君	健康増進課長 川原 達也君
学校教育課長 森本 治君	商工観光課長 大崎 文裕君
上下水道課長 金島 正樹君	建 設 課 長 福圓 章浩君
教育総務課長 西崎 雅彦君	農林課参事兼 地域整備推進室参事 三田 義雄君
社会教育課長兼 中央公民館長 大月 美佳君	

7 事務局職員出席者

議会事務局長 土井 常男君	副 参 事 逢坂紀美子君
---------------	--------------

8 審査又は調査事件について

- 1) 議第38号 令和5年度赤磐市一般会計補正予算（第4号）
- 2) 議第39号 令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 3) 議第40号 令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

- 4) 議第41号 令和5年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 5) 議第42号 令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号)
- 6) 議第43号 令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 7) 議第44号 令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算(第1号)
- 8) 議第45号 令和5年度赤磐市財産区特別会計補正予算(第1号)
- 9) 議第46号 令和5年度赤磐市下水道事業会計補正予算(第1号)

午前10時0分 開会

○委員長（大森進次君） ただいまから予算常任委員会を開会いたします。

まず初めに、実盛委員と執行部より高橋建設事業部長の欠席の申出がございましたので、御報告いたします。

次に、友實市長より挨拶をお願いをいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、皆様方、大変御多忙の中、予算常任委員会をお開きいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の委員会では、9月定例議会に上程させていただいております補正予算9会計について御審査をいただくことになります。慎重審査の上、適切なる御決定をいただきますようお願いしながら、御挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託されました案件は、議第38号令和5年度赤磐市一般会計補正予算（第4号）から議第46号令和5年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）までの9件であります。

内容については、本会議場で説明いただきましたが、補足説明がありましたらお願いします。

説明は、重要な部分を捉えていただきまして、簡潔をお願いをしたいと思います。

なお、本日の資料のうち補正予算書と説明資料は、サイドボックスの全体共有フォルダーの本会議、令和5年、9月第4回定例会、議案・説明資料フォルダーの中に議案書と補正予算説明資料に分かれて格納されています。

審査方法につきましては、まず債務負担行為補正と地方債補正について審査し、次に歳入歳出について歳出の款ごとに審査を行いたいと思います。なお、歳入については、質疑は歳出の関連部門で併せて受けたいと思います。

この方法でいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

説明及び質疑のときは、補正予算書及び説明資料のページ番号を言うてから行うようにお願いをします。なお、補正予算書のページは、議案書の通し番号を言うてください。

また、質疑については、簡潔明瞭に行い、総務、厚生文教、産業建設のそれぞれの常任委員は所管部分に関しての質疑は原則行わないようお願いをします。

また、換気のため、ドアの開放を行い、適時休憩を取りたいと思いますので、御協力をよろ

しくお願いします。

それでは、執行部からの補足説明がありましたら、部ごとをお願いをいたします。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 本会議場で説明したとおりで、補足説明はございませんので、よろしく願いいたします。

○委員長（大森進次君） 執行部の説明が終わりました。

それでは、予算書60ページから61ページの第2表債務負担行為補正及び第3表地方債補正について質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に歳入歳出について、最初に全般的な質疑があればお受けし、次に歳出の款ごとに質疑を受けたいと思います。

なお、歳入については、歳出の関連部分で質疑をお願いをいたします。

それでは、歳入歳出の全体的な質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私は、説明資料のほうで質問します。

7ページなのですが、デジタル田園都市国家構想交付金3,056万6,000円ということで、これが公共交通の関係だというふうな説明もあったんですが、もう少しこれについて説明願いたいと思うんですが。

○委員長（大森進次君） 歳入歳出の全般的な質疑ですね。

それでは、答弁を求めます。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 説明資料の7ページ、デジタル田園都市国家構想交付金につきましては、関連歳出といたしましては、ハレカハーフ事業の経費に関しまして、こちらがキャッシュレス決済導入を行うことから、デジタル化の推進を図るものでございます。

このたび、デジタル田園都市国家構想交付金TYPE1優良モデル導入支援型といたしまして、ほかの地域等で既に確立されている優良モデルサービスを活用して迅速に横展開する取組として採択をされております。この採択に基づきまして、3,056万6,000円をこのたび補正計上をさせていただくものでございます。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） そしたら、ハレカハーフ関係にこれを全部使うということなんですか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） ハレカハーフ事業全般に関しての補正、事業費に充当するものでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（大森進次君） 次に、質疑はございませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 全体についての質問ということなのですが、今の関連質問はここでいいんでしょうか、それとも款で移ったときのほうがいいんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 全般的な質問であるのでお願いします。

○委員（原田素代君） 今の説明資料の7ページのハレカカードのことなのですが、これは3月に、年度当初に事業計上してましたよね。それはどうですか。

○委員長（大森進次君） 答弁願います。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 令和5年度の当初予算のほうに事業費は計上させていただいておりました。その後、国庫補助事業の申請をさせていただいて、採択になったものでございます。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 市民の方が大変憤っていらっしゃったんですけれど、要するに3月に、年度当初に予算も上げて、事業をするということで議会のほうが通っているにもかかわらず、現在9月の議会の段階で、国庫が出たからといってそれまで何も手をつけてないということに、事業そのものが、ハレカカードの制度そのものが遅れていることについては、執行部のほうはどういうふうに理解されてるんでしょうか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） まず、こちらの歳入に関しましては、採択されたので、補正をさせていただきたいという趣旨でございます。

事業の進捗につきましては、予算可決後、システムの改修、それからハレカハーフに欠かすことのできないＩＣカードの調達等におきまして、こちらのほうが半導体不足等の影響によりましてなかなか納入の期間がかかるというようなことで、こちらの納入のほうを進めているというところでございます、準備のほうは少しずつ着々と進めてはいるところではございます。

確かに、皆様方になかなか事業が開始されないというふうな御不満等はあるかと思いますが、事務方といたしましては、事業が早く開始できるように、進捗をしっかりと管理のほうをしているところではございます。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 要するに、当初予算の新規事業として上げられていながら、将来的に国庫が来るから、それはそれで、これから来たらやりますというようなことを想定した当初予算であれば、そういう説明があつてしかるべきですね。要するに、これを知ってた市民の皆さんは、この３月の当初で、４月からこの事業があつて、ハレカカードが使えると思いますよね。何で、当初の段階でそういう説明のないまま、予算が今回出てきたということでこれから始まるんでしょうね。親切でないですね。

○委員長（大森進次君） 答弁願います。

○総合政策部長（倉本貴博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 倉本部長。

○総合政策部長（倉本貴博君） 当初予算では、通称デジ田交付金とつづめて申し上げますけれども、デジ田交付金の対象としてハレカハーフ事業が当たるかどうか不明な点がございましたので、一般財源で措置をさせていただきました。一般財源を充当するという前提で年度当初から事業は着々、こちらは着々というのは正しいかどうか分かりませんが、事業は進めてまいりまして、このたび申請をしたところ、国庫補助金が入り下りということが分かりましたので、一般財源と国庫補助金を財源上入れ替えたというだけでございまして、歳出としてのこの事業につきましては、何ら変更はございません。年度当初から事業は進めてまいっておるところでございます。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 最後をお願いですけれども、せめて担当委員会に当初予算の事業として

この事業は当面こういうふうになりますよぐらいの説明がないと、市民の方たちからすれば、そういう事業が始まるのに何で始まらないんだって思いますよね。そこは、議会に対して、この予算の扱いがどうなるっていうことぐらいは説明していただかないと、大変市民の方に申し訳なかったと思ってるんですが、その点はどうですか。

○委員長（大森進次君） 答弁願います。

○総合政策部長（倉本貴博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 倉本部長。

○総合政策部長（倉本貴博君） この事業の開始が遅れておりますことは、まずもっておわびを申し上げます。ただ、決して怠けていたわけではないということだけは御理解いただきたいのと、あと事業の進捗につきましては、今後も総務常任委員会を通じて御報告を申し上げたいと思います。

以上です。

○委員（原田素代君） 結構です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、2款総務費について質疑を受けたいと思います。

予算書は72ページから73ページ、説明資料は10ページから11ページです。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 説明資料の11ページの施設管理費のところに桜が丘いきいき交流センター20周年記念事業の経費が上がっております。この20周年の記念事業というのは、当初で分かっていたことであるにもかかわらず、直近のこの9月議会に補正で上がったという経緯を説明してください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 桜が丘いきいき交流センター20周年記念事業でございます。

こちらにつきましては、20周年になるということは決まっておりましたが、そこまでのイベントの計画は当初の段階ではしておりませんでした。その中で、運営委員会、この辺の意見を聞きながら検討していく中で、事業をしていこうということで急遽決まりまして、するようになったものでございます。

以上です。

○委員（原田素代君） 結構です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私は、説明資料ばかり言うんですが、11ページで、今さっきのハレカの関係なんです、今回増額するということなんです、これは当初予算との関係で、この400万円幾らというのは、どういうところが増額するようになるんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁求めます。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） こちらの内容でございますが、先ほども少し触れたんですが、ＩＣカードの調達がなかなか時間がかかるということを言われております、半導体不足ということでございます。本年度につきましては、既に予算のほうは可決をしていただいているところでございまして、プラスアルファ、次年度以降もかなりの量が必要になってくる可能性がありますので、あらかじめ用意をしていきたいと思っております。枚数でございますけれども、5,000枚を用意させていただきたいと考えております。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 今回この国庫補助が出たんですけど、当初はどのくらいを見込んでいたんですか。今回そういう国庫が出たからということで、目標として5,000枚というふうに目標を変えたんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁願います。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） すいません、説明不足で。

当初も5,000枚を確保する予定にしておりました。

以上です。

○委員（福木京子君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に3款民生費について質疑を受けたいと思います。

予算書は72ページから75ページ、説明資料は10ページから13ページです。

質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明の11ページなのですが、原油価格高騰の関係で今回いろんな施策がありまして、介護事業所、障害者福祉施設、それからあと医療機関、児童福祉事業所、それぞれのこの件数というんですか、それが分かれば教えていただきたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○保健福祉部参与（原田光治君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田参与。

○保健福祉部参与（原田光治君） 社会福祉課の関係、障害者の事業所になりますけども、事業所数としましては52件を想定しております。あと、介護保険課の関連、高齢者の事業所ですけども、そこが70件、あと子育て支援の関係が、放課後児童クラブと保育園等ですけども、39件、それから款が違ふんですけども、健康増進の関係、医療機関等も同様の交付金の支給を予定しておりまして、そこが96件、全体で257件を想定して計上しております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） それぞれの数を言ってくださったんですけど、大体平均的に支援するんですか。それぞれ、医療機関だったら大きいところがあったり、個人があったり、その辺の内容的なものはどんなんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○保健福祉部参与（原田光治君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田参与。

○保健福祉部参与（原田光治君） 事業所の種類ですとか、あと規模等によって支給額は変えるようにしております。全部ここで申し上げますと細くなるんですけども、事業所ごと、種別ごとによって支給額を変えております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい、分かりました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 説明資料の12ページ、13ページで、児童福祉費の保育園運営事業のう

ち、私立保育園、こども園における使用済みおむつの園処分を推進するための特別保育事業補助金75万6,000円について1点確認をさせてください。

おむつの保護者の持ち帰りというのは、持ち帰る際の悪臭だとか衛生的に問題があること、また施設内で働く保育士さんにとって、園児ごとの仕分など負担が大きいなどの問題があり、もう全国的に大きな課題になっておりました。

そして、今回、施設内処理について補正なんですけれども、これは私も実際のところはよく分からないんですけど、一般的な話なんですけれども、保育施設内で処理をする場合、処理費用がかかるだけじゃなくて、園によっては保管スペースの確保だとか、ダストボックスなどを準備するだとかが必要になってくる、環境整備が必要になってくるというような御指摘もあります。今回の補正予算というのは、処理費用なんでしょうか、環境整備も含めてなんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁をお願いします。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 和田課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 今回計上しております経費の中に、処理費用だけなのか、環境整備費用まで含まれているのかという御質問についてお答えします。

今回計上させていただいております計算の方法としては、ゼロ歳、1歳、2歳児のクラスのお子さんの数に300円を単価として掛けるという方法を想定して計上しております。この300円の中には、実際におむつの、ごみに出します処分費用が含まれます。切りのいい300円にさせていただいた中には、それを入れるゴミ袋だとか、ごみを入れるケースですとか、そういうことに使っていただいてもいいというふうに考えております。

園にいろいろ聞き取りをしましたら、環境整備は、始めてみていろいろ必要に応じてまた考えていくというような案もありましたし、今回国や県から環境整備費用の財源が見つからないということもあります。そういうことで、環境整備というのが、物すごく大きな大金のほうがかかるような施設整備には十分な補助額にはならないとは思っていますが、継続的にこの経費を、300円ですけれども、お出しすることによって、そういったある程度の規模の物は買いそろえていただいて、有効に活用していただきたいという考えでおります。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明資料の13ページの子育て支援のほうなんですけど、ここの説明に、子育て支援施設が常勤職員を配置することによりというふうな説明があるんですけど、これはど

ういうことなんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁願います。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 和田課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 今回計上しております額について少し詳しく御説明しますと、子育て支援施設と書いておりますが、具体的には民間の子育て支援センターというところになります。当初では、常勤の職員がいらっしゃらなかったのが、常勤職員を配置されるということになりますと、国庫の補助基準額そのものがこの240万円ほど上がりますので、そこで増額補正をお願いするものでございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明が不足で分かりにくいんですが、じゃから当初に予算がついとんどでしょうけど、ここでだから常勤にするということでしょ。だから、その辺の説明をしていただきたいなど。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 和田課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 失礼しました。そうです。この年度内に常勤職員を置かれるということで、国庫基準額が上がるということでございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に4款衛生費について質疑を受けたいと思います。

予算書は、74ページから77ページです。説明資料は、12ページから13ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に6款農林水産業費について質疑を受けたいと思います。

予算書は76ページから77ページ、説明資料は12ページから13ページです。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 説明資料13ページの一番下の段でございますが、県営事業費に係る農林水産業債の増額ということがよく分からないので、この説明を求めます。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓課長。

○建設課長（福圓章浩君） 県営事業費の増額ですけれども、歳出は変更ありません。その負担金に対して起債が借りられることが分かりましたので、その起債を借りる分だけ一般財源を減らして、起債のほうを増やしております。

以上です。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に8款土木費について質疑を受けたいと思います。

予算書は76ページから77ページ、説明資料は14ページから15ページです。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 説明資料の15ページの一番上でございますが、いわゆる先ほど来のコロナの原油価格の高騰に伴う補助金ですが、この下水道事業の会計に出す金額ですけど、これは下水処理場の委託先にも、その業者さんにも届くような金額になるんでしょうか、それとも市の下水道事業会計の中で使うものになるんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金島課長。

○上下水道課長（金島正樹君） こちらは、今、一般会計のほうで予算計上しております。こちらから下水道会計のほうへ繰り出しをしまして、そちらに繰り入れるように予定しております。その先に、今回、山陽浄化センター及び山陽処理区のマンホールポンプ等の管理をいただいている業者のほうへ支払っていくようになります。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に10款教育費について質疑を受けたいと思います。

予算書は76ページから79ページ、説明資料は14ページから17ページです。

質疑はありませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） 1目の教育委員会費の中で、今回の赤坂地域の統廃合の関係でござい
ますが、これは大体いつ頃から始めて、何回程度の予算を上げられているのか教えていただき
たいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 今回、委員報酬ということで計上させていただいております
けれども、具体的には10月から第1回目の開催を予定しております。年度内に4回を想定とい
うことで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） はい、よろしい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 今のちょっと下のいじめ問題対策連絡協議会のところなんですけど、
これは厚生文教で説明されてたんですが、私は聞き漏らしたんで確認させていただきたいんで
すけど、委員が15名以内ということだったと思うんですけど、これは今と同じで何回ぐらい予
定されてるんでしょうか。それも、今から委員を選んで年度内に間に合うんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○学校教育課長（森本 治君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 森本課長。

○学校教育課長（森本 治君） 委員の想定でございますけども、委員の想定としましては、
学識経験者、学校、教育委員会、児童相談所、地方法務局、警察、PTA、主任児童委員等を
想定しております。委員につきましては、これからとなりますけども、そういうことで考えて
おります。

今回上げさせていただいている回数の想定でございますけども、最低5回程度というふうに
考えております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 統合の準備の委員会なんですけど、市民の方に聞かれたときにどの程度まで答えたらええんか、分からんのじゃというわけにはいかないので、聞かれたらこういう方向ですよぐらいの説明ができるぐらいの説明をしてほしいんですけど。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 統合の準備委員会につきましては、その委員会の中で、統合に関わります教育課程ですとか、そういった細々なことを決定していただきたいと考えております。その決定事項につきましては、ホームページ等で随時お知らせをさせていただく予定としております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） いやいや、それはもう前にもほかの人が聞きようで分かつとんじゃけど、聞かれたときに議員が何にも知らんというわけにはいかんから、どういう方向であれじゃというぐらいの、答えられるぐらいの提供をしてくださいて言よんで、その話は前にも聞いとるから頭の中にありますよ。そうじゃなしに、一般の人に聞かれたときに、こういう方向で今進んどんですよぐらいのことを話せるだけの材料を提供してくださいて言よるだけの話で。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） すいません。

統合の準備委員会で協議をさせていただきました事項につきましては、随時、情報提供という形でお知らせをさせていただく予定でございますので、よろしくお願いします。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） いや、そういう細かいとこまで聞きょんじゃないん。大体こういう方向でやるんですよというぐらいの簡単なことでええ。今の話は、話にならんわ、話題に、会話に。その話は、もうずっと前に、以前に同じことを聞いとるからここへあるんじゃけど、それ

をほんなら聞かれたときにこうなんですよと言うたんじゃ会話にならんでしょう。じゃけ、会話になる程度の最低限の情報を下さいというて言よる。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育次長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 入矢教育次長。

○教育次長（入矢五和夫君） 概要をとということでございますか。

○委員（下山哲司君） 話題だけぐらいの範囲でいいんです。中身はそんなに細かく。

○教育次長（入矢五和夫君） 現在、赤坂地域の3校について統合という方針を、教育委員会というか、市のほうでは出させていただいております。それで、ここで条例のほうを可決いただきましたら、今度はそれぞれの統合に向けた各準備、例えば場所ですとか名称ですとか、また細かいことを言えば校歌とか校章とか制服とか、また教育の方針、教育計画、そういう大きな話もございますし、通学の方法等も検討をしていくということでございます。それを準備委員会のほうでもんでいただきまして、答申という形で市のほうに提供いただくと、それを尊重いたしまして、最終的に決定をしていくというような流れで進めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 最後に1つだけ。

ほんなら、ここに集約するというのは、まだ内定も何もないということですね。今協議中じやというて答えときゃええんですな。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育次長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 入矢教育次長。

○教育次長（入矢五和夫君） そのとおりでございます。どこにするとかということは、これから準備委員会のほうに、市としても資料等をお示しして、決定をしていくということでございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） その後の2項のあたりで小学校費とか3項の中学校費とかいろいろ出ておりますけど、これは原油価格の高騰による電気料の増額ということになっておりますけど、これは今出てるんですか、これからまたいろいろ燃料費とかで高騰になったりとか上がってくると思うんですが、一応この今回の増額というのは、年度末までの予算を見越しての補正

額でしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 今回計上させていただいております小学校、中学校及び幼稚園につきましては、いわゆる高压の業務用電力という種別の契約をしている学校・園でございます。こちらの電気料の算定の上での基本料金、それから電力量料金の単価が上がっておりまして、それに伴う増額ということでございまして、年度内の経費を見越しての増額補正でございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） よろしい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 同じく、そこなんですけど、小学校、中学校、幼稚園とざっと電気代の補正が載っとなんですが、エアコンが効かないということで子供たちが我慢をしとられるような学校園はないという理解でよろしいですか。赤坂支所の方々が効かないエアコンで大分我慢をされとったようなことも耳にしたもので、併せて確認させください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） エアコンにつきましても、子供たちの環境、快適な学習環境ということで使用のほうをお願いしているところでございます。それから、冬につきましては、一部でストーブという部分で灯油代のほうも計上させていただいております。教室によっては、ストーブも危険という部分もございますので、そちらは状況を見ながら、ストーブもしくはエアコンという形で運転をしてまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 我慢をしとる子供たちがいるかどうか、いないならいないというて言っていたら、それで十分ですから。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 我慢をしている子供たちはいないと考えております。

以上です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明の17ページなんですけど、庄徳庵修繕とあります。それで、今回420万円の増額が上がってるんです。これは、当初予算が幾らで、そのときに企画したと思うんですが、今回420万円の増額が出てるといえるのはどういうことでしょうか、説明願いたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月公民館長。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 庄徳庵についてでございます。

昨年度、設計をいたしまして、当初では550万円計上しておりましたけれども、その際には屋根の工法等がまだ決まっておらなかった。屋根の工法がこのたび鋼板にすることによって決定いたしましたのと、あとは天井のほうで2分の1撤去ということと、床、畳の張り替え、それから障子の張り替え等も必要ということで、このたび補正予算で上げさせていただいております。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） これは、大体当初予算にそういう見積りができてないといけないと思うんです。当初は550万円ということで認められてきてるのに、今回この9月で420万円の増額になるんでしょ。倍に、同じぐらいの金額が上がってきてる。この予算のつけ方はおかしいんじゃないですか。当初予算できっちり計画を立てて、それなら、使用される回数やらいろんなことを全部勘案して認めるかどうかの判断をするわけなんです。だけど、こういうふうに、9月にもこれだけの予算が出てきてるといえるのは、やり方としておかしいんじゃないでしょうか。その辺はどう考えられてますか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月公民館長。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） おっしゃるとおりだと思いますが、早急に修繕が必要ということで、当初で、概算ではありますけれども上げさせていただいて、その後、工法を見直すところで決定したということで、増額のほうを上げさせていただいております。

す。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） それは、いいんです。早急に修繕しないと、あれは毎日通って見てますから、いつ工事がされるのかなというふうに思ってたんですが、それは当初予算の範囲内でできるだけするというのが本来の在り方じゃないでしょうか。どうしても屋根の工法が決まってないというんでしたら、何割かはそれは出るでしょうけど、この予算は、さらに420万円の増額というのはなかなか理解しにくいんですが、これはどうしてこういうふうに安易に予算をつけられるのかなというふうに思う。もう少し説明願いたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育次長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 入矢教育次長。

○教育次長（入矢五和夫君） 先ほど館長が説明させていただいたとおりで、状況としては早急にせんといけんということで概算で組ませていただいたとりましたが、しっかり確認をする中で、費用が増額となっております。見込みの甘さについては、大変申し訳ないと思っておりますが、どうしても必要な経費ということで考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） いやいや、それはもう見込みが甘いというのも分かった上で予算を出されてきているということなんですが、もう少しこれは責任を持たないといけないと思うんですが、その辺で、経費のことをできるだけ縮小してやるべきではないかと思うんですが、その辺はどういうふうに考えておられますか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育次長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 入矢教育次長。

○教育次長（入矢五和夫君） 経費のほうも、しっかり見直しをさせていただいて、必要でない部分は当然切り詰めて数字は出させていただいております。見込みの甘さについては、先ほど申しましたとおり、今後もしっかり検討して、なるべくこういうことがないように進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 一番最後のとこの埋蔵文化財の調査なんですけど、これはどこの調査になるんでしょうか、場所は。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月課長。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 埋蔵文化財の確認調査でございますけれども、岩田地内です。岩田の新拠点整備事業の予定範囲ということで、そちらのほうは文化財の包蔵地になっておりますので、試掘が必要ということでこちらのほう上げさせていただいております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 私は、南方とかあっちのほうかと思ってたんですけど、新拠点のほうで、これは公共ゾーンに入っているとこの調査でしょうか。商業ゾーンとか別のところがありますけど、これは事業者がやるということなんで、そちらは赤磐市の分野じゃないと思うんですけど、公共ゾーンの中にも包蔵地が入ってるということなんででしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月課長。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） この該当地域が新拠点整備事業の範囲に入っているということで、その中に遺跡ですとか、そういうものがないかどうかというものを確認するための試掘作業になります。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 準備区域全体の調査なんですか、それとも赤磐市が整備する公共ゾーンの区域だけなんですか。新拠点だと言われたので、気になってるのが、保田委員が近くのことと、その調査に3,500万円もかかるということだったんですけど、これは300万円程度で調査ができるんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月課長。

○社会教育課長兼中央公民館長（大月美佳君） 全体でございます。公共ゾーンを含む全体になります。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 包蔵地は3か所ありますよね、あれは全体でいきましたら。その全域を調査するということですか。それで300万円で可能なんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育次長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 入矢教育次長。

○教育次長（入矢五和夫君） 全体で9か所を予定をしております。9か所の試掘を予定をしておりますして、試掘ですから、どんな民有地に関しましても市のほうで調査をすることになっておりますので、こちらについては市のほうの予算ということで計上をさせていただいてるところです。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長、すいません。

試掘ですから、ポイントを絞ってその3か所の包蔵地の中をされるのを何か所か選ばれるんだろうと思うんですけど、私が疑問に思ってるのが、先ほど言いました、保田委員が関係されたところが3,500万円だと言われてるのが300万円でできる、これはあくまで試掘で、そこに保存しないといけないような埋蔵物が見つかったら、本格的にまだ追加の調査は必要だということですね。これで終わりということじゃあないと理解してよろしいでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育次長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 入矢教育次長。

○教育次長（入矢五和夫君） そのとおりでございます。試掘なので、あるかなしかの調査ということになります。もしあれば、本格調査というのはそれぞれのところでやるということになりますので、よろしくお願いします。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第38号令和5年度赤磐市一般会計補正予算（第4号）の質疑を終わります。

続きまして、議第39号令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について審査を行います。

執行部からの説明がありましたらお願いをいたします。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 本会議場で説明したとおりで、補足説明はございません。そのほかの特別会計につきましても、同様に補足説明はございません。よろしくお願いいたします。

○委員長（大森進次君） それではこれから質疑を受けたいと思います。

事業勘定、熊山診療施設勘定、佐伯北・是里診療施設勘定の3つの全ての質疑をお受けします。

補正予算書の88ページから115ページ、説明資料は20ページから31ページです。

質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明書の27ページで、結局これが雨天のときの発熱外来のためにカーポートですか、これを設置する、これは遅いぐらいですよ、外でされてて、気の毒だなあというふうに思っておりました。これを設置されて、当分続くというふうな状況でこれを設置しているという、見通しはどんなんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原課長。

○健康増進課長（川原達也君） 見通しにつきましては、皆様御承知だとは思いますが、コロナの感染症につきましてはまだ続いております。5類になったとはいえ、感染者も若干ではありますが増加傾向にあります。インフルエンザとかそれ以外の発熱の患者さんも結構おられるということで、まだしばらくは続くんじゃないかなと見込んでおります。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第39号令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の質疑を終わります。

続いて、議第40号令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の124ページから127ページ、説明資料は34ページから37ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、議第40号令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の質疑を終わります。

続いて、議第41号令和5年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第1号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の136ページから139ページ、説明資料40ページから43ページです。

質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明のほうの43ページの国庫・県費等支出金の確定によって精算返還金を増額なんですけど、この金額的には1億3,300万円幾らというふうな返還金になってるんですけど、毎年こういうふうな金額的なものだったのでしょうか。見たときにあらと、金額的に大きな返還金だなあというふうに思ってるんですけど、説明願いたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○介護保険課長（和気幸恵君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 和気課長。

○介護保険課長（和気幸恵君） 今回の返還金の件につきましては、国のほうから交付金をいただくんですけども、過去3年間の給付費の推移を見て国のほうが決めて、いただくようになりますので、金額が少し多めにいただくようになっている状況があります。実際、今回コロナの関係で思ったより保険給付費がちょっと伸びなかったというところもございまして、返還金が増えている状況にございます。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 今回、国が決めてこういうふうな形になるというのは、どうしてこういうふうになるんですか。いやいや、今までのあれとして、金額的にこういうふうなやり方になったというのは、どういう意味でしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○介護保険課長（和気幸恵君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 和気課長。

○介護保険課長（和気幸恵君）　今回、国の交付申請等につきまして、この介護給付費の負担金申請につきましては、以前からこういう、国が推計を立てていただくような状況になっておりますので、今回令和４年度が特別ということではございません。

以上でございます。

○委員長（大森進次君）　よろしいか。

○委員（福木京子君）　いいです。

○委員長（大森進次君）　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君）　なければ、これで議第41号令和５年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第１号）の質疑を終わります。

続いて、議第42号令和５年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算（第１号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の148ページから151ページ、説明資料は46ページから49ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君）　なければ、これで議第42号令和５年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算（第１号）の質疑を終わります。

続きまして、議第43号令和５年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第１号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の160ページから163ページ、説明資料は52ページから55ページです。

質疑はありませんか。

よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君）　なければ、これで議第43号令和５年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算（第１号）の質疑を終わります。

続いて、議第44号令和５年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第１号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の172ページから175ページ、説明資料は58ページから61ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君）　なければ、これで議第44号令和５年度赤磐市竜天オートキャンプ場

特別会計補正予算（第１号）の質疑を終わります。

続いて、議第45号令和５年度赤磐市財産区特別会計補正予算（第１号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の184ページから187ページ、説明資料は64ページから67ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第45号令和５年度赤磐市財産区特別会計補正予算（第１号）の質疑を終わります。

続いて、議第46号令和５年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第１号）について審査を行います。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の189ページから193ページ、説明資料は70ページから73ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第46号令和５年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第１号）の質疑を終わります。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第38号令和５年度赤磐市一般会計補正予算（第４号）から議第46号令和５年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第１号）までの９件を採決したいと思います。

採決の方法については、一括採決か分割にするのか、御意見をお願いいたします。

○委員（下山 哲司君） 一括で。

○委員長（大森進次君） 一括。分かりました。

それでは、議第38号令和５年度赤磐市一般会計補正予算（第４号）から議第46号令和５年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第１号）の９件について一括採決を行いたいと思います。異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） したがいまして、議第38号から議第46号までの９件を一括採決いたします。

それでは、これら９件を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立全員です。したがいまして、議第38号から議第46号までの９件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査はこれで全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） では、そのようにさせていただきます。

それでは、閉会に当たりまして、前田副市長より挨拶をお願いをいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 皆様方におかれましては、予算常任委員会におきまして、議第38号をはじめいたします補正予算案9案につきまして大変慎重に御審査をいただき、御可決をいただきました。ありがとうございます。お礼を申し上げまして、閉会の挨拶と代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

○委員長（大森進次君） ありがとうございました。

これで予算常任委員会を閉会いたします。

皆さん、大変お疲れさまでした。

午前10時59分 閉会